

東と西の懸け橋に「一台八手」も披露

「ファミローザ・ハーモニー」ポルトガルでコンサートツアー

母と3姉妹で編成する東京のファミリーアンサンブル「ファミローザ・ハーモニー」が21日から約1カ月間、ポルトガルでコンサートツアーを行う。日葡修好150周年記念事業に招かれたのがきっかけで、着物姿でも演奏するほか、ピアノ1台を家族4人で弾く世界的にも珍しい連弾も披露する。特殊な音楽理論に基づいた赤ちゃんのためのコンサートも行う予定で、メンバーは「音楽を通して、遠く離れた地球の東と西の結びつきを深める機会になれば」と胸を膨らませている。

あすから10都市で公演

4人が初めてポルトガルを訪れたのは2004年。ファミローザ・ハーモニー結成10年目を機に、母の石塚由紀子さんが「4人がもっと成長できるように」と研修旅行を企画した。以来、現地との縁が深まり、07年に初めてのポルトガル・コンサートツアーを成功させ、08年には厳格なカルメロ修道院でライブ録音したアルバム「愛・祈り・感謝」を発表。三女の富美子さんは、バイオリンでファドのアルバム「プレザ・ヌ・ファド」をリリースしたほか、次女の優美子さんが昨年ポルトガルの国立音楽学校で教師を務めるなど、個々でもつながりを深めてきた。

「ポルトガルは生活に音楽が根ざっていて演奏するのがすごく気持ちいい。時間の流れ方も私たちが小さいころと似ていて、懐かしい雰囲気があります」と長女の恵美子さん。

今回のツアーは、在ポルトガル日本大使館から、日葡修好150周年記念事業に招聘されたのがきっかけで、21日に、リスボンのサ・ダ・パンデイラ劇場で行われる「日本文化週間オープニング」で演奏するのを皮切りに約10都市を巡る。

4人全員が着物姿で叙情歌メドレーをアンサンブルで演奏するほか、ガーシュイン「ラブソディー・イン・ブルー」、チャイコフスキー「くるみ割り人形」などの名曲を連弾で披露する。1台のピアノを4人で弾く「一台八手」と呼ばれる連弾は世界的にも珍しく、「それを家族で実演するのは私たちだけかも」と由紀子さん。一台八手のための曲は2、3曲しかないため、コンサートで演奏する曲は恵美子さんが編曲している。

富美子さんは「まさか家族4人でまたポルトガルで演奏できると思っていなかったのが、縁の深まりにびっくりしています。ファドのアルバムをつくったとき、言葉がままならなかったんですが、音楽や心の交流には、言葉よりも気持ちが大切だと感じました。今回も、感謝の気持ちを音楽に乗せて演奏したいと思っています」と抱負を語る。

赤ちゃんのために演奏

ツアー中、優美子さんの勤める国立サンブ音楽学校で



①息がぴったりの絶妙なアンサンブルが魅力のファミローザ・ハーモニー。(左から)三女・富美子さん、次女・優美子さん、長女・恵美子さん、母・由紀子さん
②ポルトガルのカルメロ修道院でライブ録音したアルバム「愛・祈り・感謝」

は、「赤ちゃんのためのコンサート」も開く。北米の作家が提唱した音楽理論に影響を受けたサンブ音楽学校のパウロ・ラメイロ氏らが1998年に始めた。

「舞台と客席を分けずに、一緒のフロアで、赤ちゃんがよちよち歩いている目の前で演奏したり、リズムをとったり、楽器に触らせてあげたり。私たちも日本の幼稚園などで演奏したことはありますが、こうした徹底した音楽理論に基づいた赤ちゃんのためのコンサートは日本ではないと思います」と優美子さん。

3姉妹を育ててきた由紀子さんは「魂をはぐくむために音楽がどれだけ大切か、それを考えて3人と一緒に音楽を続けてきました。『三つ子の魂百まで』といいますが、地球の西と東で同じことを考えている人がいると知ったときは、すごく感動しました。人は赤ちゃんのころは言葉や気持ちが理解できないといいますが、絶対に分かるはずなので、心を込めて奏でたいと思っています」と語る。

ツアーの曲目には、400年以上前に欧州に渡った「天正遣欧少年使節団」が演奏したといわれる曲や、鳴き砂保護の思いを込めて作られたファミローザ・ハーモニーのオリジナル曲も入っており、歴史や環境をみつめる機会にもなりそうだ。



ファミローザ・ハーモニー 1994年に結成。母・石塚由紀子さん(ピアノ)、長女・恵美子さん(ピアノ・ボーカル・作詞・作曲・編曲)、次女・優美子さん(ボーカル・ピアノ・パーカッション・作詞・作曲・編曲)、三女・富美子さん(バイオリン・ボーカル・ピアノ)の4人編成の音楽ファミリー。クラシックをベースに民族音楽、映画音楽、叙情歌などジャンルを超えた演奏で活躍。2000年にはドイツ・モーツァルト協会からの招聘で、ドイツとローマでコンサートを行った。

ミュージックチャート Billboard JAPAN

順位 ホット100 (シングル)

- 1 (39) Love Rainbow (嵐)
- 2 (1) Wildflower (Superfly)
- 3 (一) Precious (GLAY)
- 4 (41) GENIE (少女時代)
- 5 (一) ずっと前から (フレンチ・キス)
- 6 (一) ごはんはおかず (放課後ティータイム)
- 7 (49) I LOVE ××× (大塚愛)
- 8 (19) ミザリー (マルーン5)
- 9 (38) メトロ・フィルム (秦基博)
- 10 (18) ever (LOOP CHILD)

順位 トップアルバム

- 1 (一) The... (JUNSU/JEJUNG/YUCHUN)
- 2 (一) "B" ORDERLESS (氷室京介)
- 3 (一) 言葉にならない、笑顔を見せてくれよ (くるり)
- 4 (3) 僕の見ている風景 (嵐)
- 5 (一) LIFE (アンジェラ・アキ)
- 6 (2) ALL COVERS BEST (コブクロ)
- 7 (一) シトロンの雨 (田村ゆかり)
- 8 (1) BPM (堂本光一)
- 9 (一) JAPANESE POP (安藤裕子)
- 10 (一) Dearest (clear)



アンジェラ・アキ
「LIFE」